

班	No.	施設レビューで一般化された(共通の)課題
A	1	■受益者負担の適正化 ①維持管理費に見合うもの②利用者別(市民・市民以外など)③利用予約の有無の視点で要検討
	2	■借地の取り扱いの見直し ①借地料発生施設の廃止②用地買収③買下げについて要検討
	3	■施設管理(運営)体制の見直し ①地元に関わってもらい興味を持ってもらう②地元の雇用創出③長期運営に伴う人件費増やマンネリ化④新たなノウハウの取り入れ⑤管理(運営)をお願いした後の市の関わり方(監理監督など)が重要という視点で要検討
	4	■施設所管課の見直し ①所管課の一本化②関係所管課の連携について要検討
	5	■利用予約の利便性向上 オンライン手続きの導入など利用者視点で要検討
	6	■積極的なPR推進 市民向け、市外県外向けに整理したPR推進について要検討
	7	■経費削減はもとより「収益増・利用者増」の仕掛けづくり 利用状況調査に基づく分析
	8	■ハコモノありきではない機能の存続を検討 ①移動式・遠隔医療②交通手段の利便性向上③引越・家賃補助について要検討
	9	■災害の視点も含めた検討 一時避難所としての活用について要検討
	10	■利用が少ないor利用されていない施設や部屋の集約化を図る 利用者の少ない施設は①廃止②用途変更について要検討

B	1	■受益者負担の適正化 ①利用者別(市民、市民以外)②市民間の公平性担保の視点で要検討
	2	■借地の取り扱いの見直し ①借地の返還②借地料の見直しについて要検討
	3	■施設管理(運営)の見直し ①民間活力の導入②関係所管課の連携③業務の効率化④オンライン手続きによる利便性の向上⑤事業内容の積極的なPR⑥施設を活用した事業の増加について要検討
	4	■利用が少ないor利用されていない施設や用地の収益化 ①カフェなど外部企業の誘致②バザー開催などの収益化について要検討
	5	■時代変化を踏まえたこれからの施設のあり方を考える ①IT技術活用によるサービスの改善・効率化を図る②人口減少や少子高齢化などによる需要変化を踏まえた検討
	6	■他用途の施設で事業を実施⇒既存施設のコンパクト化を図る ①学校など他の公共施設の活用②自治会館などの民間施設の活用について要検討
	7	■施設が設置目的以外に多様な使われ方をしているという利用実態を加味した検討 ①災害時の避難所や防災拠点として活用されている②健康診断など他用途事業が実施されている③地域交流の場として活用されていることを踏まえて要検討
	8	■複合化によるサービス低下の阻止 ①バス運行など移動手段の確保②開館時間延長などサービス内容向上について要検討
	9	■「誰もが同じようなサービスを受けられる」を目指す ⇒地域単位で必要なサービス・機能・施設の検討 ①施設のばらつき②地域・市域を越えた利用③市が行う事業の改善・充実の視点で要検討
	10	■施設の統合による相乗効果の醸成 ①多世代交流の促進②利用しやすさの向上について要検討
	11	■利用が少ないor利用されていない施設や部屋の集約化を図る ①市全体としての施設の集約化について要検討
	12	■似たような機能やサービスを行う施設の集約化

住民協議会テーマ

▽1班
「”市民のため”を最優先した施設の管理運営とは？」

～施設が活きる
管理運営の方法を
考えてみよう！～

▽2班
「”どんな機能”を
”どんな規模感”で
配置させるか？」

(例えば、「中学生の部活動」は「中学校校区」の規模感。では「社会人サークル」の規模感は?)

～”あると良い”でなく
”なければならぬ”の視点
で考えてみよう！～

▽3班
「それは、
”いくつ必要”か?
それぞれの地域に必要なか?
君津市に1つが良いか?
それとも2つ？」

～”適正数”を
考えてみよう！～

班	施設レビューで見た(基本的事項を含めた)個々の課題
A、B	■耐震診断、計画的な点検修繕が急務(併せて責任を持つ部署を明確にする)
	■君津市としての基本方針が必要 ①現状把握と将来予測②目的とターゲットの明確化など
	■建物から設備までを含めたトータルコストによる修繕・建替えの比較検討が必要
	■各施設区分及び個別施設に関する意見
	■事業量に応じた適正な人員配置 実施事業に対する人件費について要見直し
	■ペーパーレス化 紙媒体である各種申請書などについて要見直し

対応方針

市で検討